



通算才94号

1965~1966-2-9

函館北ロータリークラブ

第84回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~13.30

本日のプログラム

会員卓話 "人間の若返りは可能か?" 水上会員

- 司会 遠藤会長
- 斉唱 "奉仕の理想"
- ビジター 高津政三君(浦河 沖合漁業)
酒井唯八君 他11名(函館) 菅泉君 他7名(函館東)
- 幹事報告
- 1. 年度予算の後半期に入り、容易ならざるクラブ財政の再編成をするため、奉仕部門の各委員長さん方に、今後の事業予定を検討の上、次週までに御提出をお願いします。
- 2. 帯広R.C. 2月23日の例会は午後6時より。
- 3. 小樽及び小樽南R.C. 2月23日の例会は午後5時30分より。
- 映画 "百鬼の夜(南ベトナムの記録)"

日米文化センター提供

南ベトナムでは、平和への願いも空しく6年に亘つて抗戦が続けられている。その原因の一つは、南ベトナムの豊富な農産物(米)にある。南ベトナムはアジアでも最も肥沃な土地であり、北ベトナムの美望をかつていた。それに乘じて北の共産国から4万のベトコンが南ベトナムに密かに送りこまれた。防衛線は2千キロにも達し、侵入を完封することは不可能であつた。北ベトナムでは戦争をしかける権利があると主張し、彼等のテロ行為のために殺された一般国民は万を数えた。理由は無法である。ベトコンに反対する者は勿論、単に入るのを拒んだとの理由で、邪魔だとの理由で、或るいは学校の先生であるとの理由で、南ベトナム人はベトコン侵略の犠牲者にされた。

戦いはここから始まる。南ベトナム政府軍が如何に努力して守つても、昼はともかく、夜は難しい。平和を求めらる仏教徒、カトリック教徒、貧しい農民等が数多く北ベトナムから引き揚げて来るようになった。アメリカはこの事態に對し、ベトコンの侵略を許してはならぬと考え、協力の拳に出たのである。

南ベトナムでは、政府軍だけでは足りず、農民に、若者に、子供にまで武器を持たせ、自衛の手段を教えることを余儀なくされた。国民は自らの手で自ら

然し日本の自動車業界が最も恐れている外車のノックダウンは2年後に、資本取引の自由化は5年後に実施されることを考えると、実は容易ならざる情勢なのです。更に関税の引き下げが行なわれると問題です。世界第5位の自動車国を誇り、われこそは日本の業界に残るのだとの気構えも怪しくなるでしょう。

今後の日本の自動車業界を想像すると、①かつてのアメリカの自動車メーカーが60余社から数社に統合(フォード、クライスラー等)されたように、日本でも3・4社に企業合併の形態をとる。②外国のノックダウン態勢と資本力を提携し、日本名と外車名を合わせた車名が登場するかもしれぬ。

自動車そのものについても、軽三輪ブームの後、軽四輪時代が来ました。又小型自動車は従来1200~2000ccクラスが幅をきかしていましたが、2年位前から逆戻りし、今後は恐らく1000ccクラスの新车が続々出現するでしょう。日本人は是非国産車をと申し上げたいのですが、それには日本のカメラ、時計のように、品質と価格が更に良くなる必要があります。

この度天皇陛下の御料車がはじめて日本のプリンス自動車工業で製作されることになりました。V型8気筒エンジン、6000cc 時速15キロで長時間の走行可能な特製品です。プリンスでは同型の車を、宮内庁の了解を得て一般に売り出す考えで、既に予約申し込みがあるとのこと。

新入会員御紹介

木村 順治 君 Zyunzi Kimura

- △生年月日 昭和5年4月27日
- △自宅及び電話 函館市万代町135 (2)0007 (2)3773
- △職業分類 漁業副産物製造
- △勤務先住所 函館市万代町135
- △勤務先及び地位 木村食品株式会社 専務取締役
- △経歴 北大水産学部卒業 釧路本間商店勤務 32年より現業
- △御家族 奥さん道子さん(昭和9年4月7日生)長女久美さん
- △趣味 スポーツ(ラクビー)
- △結婚記念日 昭和31年10月12日
- △推選者 遠藤会長

出席報告

- 1. 本日 会員数31名 出席21名
- 2. 先週の確定出席率 83.33%(当日22名、メイクアップ3名)

次回(2月16日)のプログラム

会員卓話 "人間の若返りは可能か?" 水上会員

(注) 木村会員の写真は次号へ掲載

の国土を守ろうと必死である。こうした困難な情勢の中でも、南ベトナム政府は国民の幸福のために、子供達を学校に通わせることを止めない。彼等の教育への意欲は先進国に決して劣らない。

治安が保たれている処では、医療が行なわれ、農民には増収をはかるべき肥料が与えられ、壊された橋が掛けられ、工場もつくられ、自国を経済成長の主流に乗せようと懸命に努力している。更に、自分達の指導者を自分達で選ぶとする動きもある。ベトコンがこれ等の妨害を狙うのは当然である。すべての南ベトナム人が命を狙われていると言つても過言ではない。

戦いのさ中にあつても、人々は希望を持っている。彼等の教養は昔は高かった。彼等に良い環境が与えられれば、素晴らしい文明を築くことであろう。

年に一度、南ベトナムでは子供達のお祭りがある。ベトコンの恐怖を忘れてしばしの時間を楽しむのである。だが、途中で一度ノロンがあがると忽ち楽しみを止めなければならない。今夜は殺し屋が来るだろうか？

この6年間、南ベトナムはそうした緊張の連続であつた。ベトコン襲撃の知らせが来る。これを防ぐには、一にかかつて南ベトナム青年の双肩にある。政府軍の主力である彼等は、今迄に5万余の戦死者を出し、而も給与も低く、休暇も少ない。にも拘らず彼等は敢然と出撃する。彼等は他の力を借りることなく、平和に生活する権利を持つ筈である。現実にはきびしい。二度と見たくない戦争場面がしばらく続く。戦闘は困難である。遂にその戦いは勝つた。

然し北ベトナムが無法の侵略を続ける限り、北ベトナムが無条件で話し合いに応じない限り、若者達は戦い続けてゆかねばならないだろう。平和が訪れるのは何時の日であろうか。その日迄、アメリカは南ベトナムに対する協力を惜しまないであろう。

(映画を御覧にならなかつた会員のために)

◆ 遠藤会長のメモより

日本に多い姓のベストテン

鈴木 佐藤 田中 山本 渡辺
高橋 小林 中村 伊藤 斎藤

◆ 出席報告

1. 本日 会員数31名 出席21名
2. 先週の確定出席率 73.33%
(当日出席21名 メークアップ2名)
函館クラブ98.27% 東クラブ97.14%

◆ 次回(2月23日)のプログラム

ロータリー創立記念合同例会 於共愛会館(会場変更につき御注意)



新入会員 木村順治君



通算才95号

1965~1966-2-16

函館北ロータリークラブ

第85回例会

例会場 明治生命館

例会日 毎週水曜日

1230~1330

- ◆ 司 会 遠藤会長 ◆ 斉 唱 "我等の生業"
- ◆ ビジター 佐野席二君他7名(函館) 大道寺小次郎君他9名(函館東)
- ◆ 幹事報告

1. 「北海道ロータリー奨学会ニコース」を配布します。是非お読み下さい。
2. 本日の例会終了後、臨時総会を行ないますので、全員お残り願います。
3. 次回(23日)はロータリー創立記念日にあたるので、共愛会館で函館3クラブの合同例会を行ないます。メーク・アップに御注意下さい。

◆ 北村親睦委員長

卒業、入学並びに就職シーズンが近付きました。お子様方で該当する方が出ましたら自発的に御申告の上、ニコニコ箱に御協力をお願いします。

◆ 会員卓話 "人間の若返りは可能か?" 水上会員

人類発生以来の悲願である不老長寿並びに若返りは可能か否か、医学的に考察してみます。但しこれからお話することは、現在の医学では正しいと認められても、将来誤りである、と訂正される場合がありますので御注意下さい。

多くの医学者は、健康長寿は食生活と大いに関係ありと述べています。東北大学名誉教授の近藤正二先生の長年にわたる長寿村(部落)、短命村(部落)の調査はこれを立証するものであり、又イギリスのある医学者は、印度で無病息災長寿で有名なフンザ族の食生活を調査し、動物実験で証明しました。

老人病研究所長緒方知三郎先生は、老化には真の老化とニセの老化があり、老人病はニセの老化を前駆症として起こるのだと言っております。

真の老化は60才前後からすべての人に容赦なくやつて来ます。その原因は生活による組織の消耗であり、細胞は萎縮し、細胞構造も崩壊消失し、遂には死亡吸収されるのです。こうなつては手おくれで、その前に防止すべきです。アメリカ、コルネル大学のMc Cay 教授の不朽の業績をとり上げてみます。彼は若い小さいラツテに、栄養学上の完全食餌を、生命維持に必要な最少量を与え続けることにより、発育期を約1000日(通常120日)に引き延ばすことに成功しました。その後このラツテに自由に食餌を与えたところ、直ちに成熟し、普通の長さの成熟期と老年期を経て死んでゆきました。但しこの場合は発育期の生命だけを延長し得たのであつて、これを人間に当てはめるのは無理でしょう。私達が期待するのは、成人として極めて充実した日常生活を営み得る長寿でな